

## 政策立案者のための能力開発：広島大学とインドネシア初等中等教育省の連携

本訪問では、インクルーシブ教育、特に教員研修プログラムの開発における協力の可能性について、これまで本学とインドネシア初等中等で教育省で協議されてきた内容を踏まえて、

- ・インクルーシブ教育における協力
- ・教員と政策立案者への研修における課題への対応
- ・政策立案者向けのオンラインパイロットプログラムの開始 に焦点を当てて話し合われました。

- ◆ 日時：2025年2月18日
- ◆ 会場：ジャカルタ（インドネシア）
- ◆ 担当部署：ウェルビーイング推進室



### 協議の概要と今後の取り組み

インドネシア初等中等教育省は、特別支援教育の補助教員の不足や体系的な研修プログラムの必要性など、特に障害者のインクルーシブ教育の強化が喫緊の課題であると強調しました。本学から、日本の優良事例を紹介するオンライン研修科目群を提供することで合意しました。このパイロットプログラムは、政策立案者を対象にオンラインで実施され、インクルーシブ教育政策の策定における知見向上を目指します。このプログラムは、地方自治体の政策立案者の洞察力、実践的なスキル、戦略的アプローチを育成し、効果的な政策を実施するための知識を身につけてもらうことを目的として設計されています。

次のステップとして、広島大学は、より体系的な能力開発につなげるための基礎となる最初のオンラインパイロットプログラムを実施します。このプログラムでは、専門家によるディスカッション、ケーススタディ、インタラクティブな質疑応答セッションを通じて、政策立案者がインクルーシブ教育を促進するための実践的な戦略を立案できるよう支援します。最終的な目標は、インドネシアにおけるインクルーシブ教育のための制度改革を推進し、効果的な政策実施を確実にできるよう、政策立案者を支援する持続可能な研修モデルを確立することです。

